

地域自治会活動から総合防犯設備士への役割について

一般社団法人 埼玉県防犯設備協会 正会員
一般社団法人 総合防犯士会 正会員

田中 吉貞



1. 地域の自治会活動について

私が住んでいる埼玉県では2004年に戦後最多となる約18万件的刑法認知件数となっていました。(近年は減少傾向になっています) そういった状況もあり、また普段から地域にボランティア的な活動に参加してみたいと思っていました。

そのころに地域の友人が自治会役員をされていて、その方から丁度お誘いもありました。地域に少しでもお役に立てることができればと思い、2005年4月に自治会の総会で副会長の任命を請け、その時以来、副会長として活動をしてまいりました。2017年には、永年にわたり地域活動をしたことに対して、さいたま市南区からの感謝状を頂きました。

自治会は住んでいるまちをより良くするために地域で支えあい、安心して暮らせるまちづくりを目指して、次のことを主に、自治会活動を行っています。

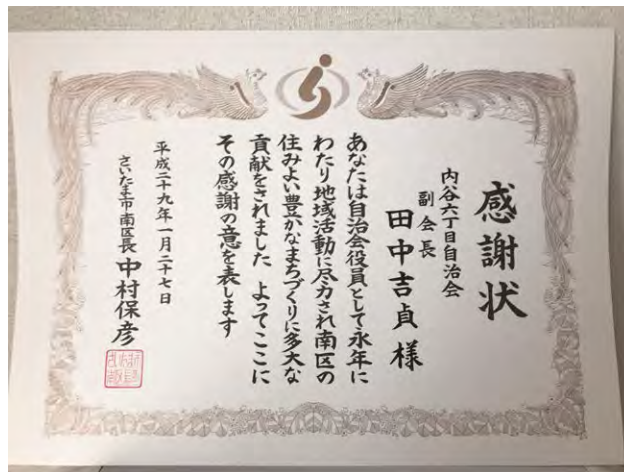
- ① 防犯活動・交通安全(自身や家族の身を守るため)
- ② 防災活動(いざというときに助け合うため)
- ③ 情報提供活動(生活をより充実させるため)
- ④ 環境美化活動(気持ちのよい、住みやすいまちをつくるため)
- ⑤ レクリエーション活動(地域のつながりをより深めるため)

これらの活動の中で防犯活動として地元の警察署より「地域防犯推進委員」の委嘱を受け、自治会と地域住民との調整役として、地域安全情報の伝達、要望などの取りまとめなど行うようになっています。

周知する情報として、ひったくり、空き巣、特殊詐欺被害など身近な犯罪発生状況、防犯機器、防犯設備に関する情報、地域安全活動を普及するための情報などです。



自治会活動(夜間防犯パトロール)



さいたま市南区からの感謝状



自治会 防災訓練

防犯パトロールで地域の安全を守りながら地域の環境について点検し、通学路や照明が少なく見通しの悪い場所がないか、危険な場所が無いかを診断して地域の安全を守り安心・安全のため小中学校PTA、子ども会、青少年育成会などにご協力をいただき、定期的に夜間パトロールを行っています。

また、自治会の防災部長として毎年、中学校の校庭で防災訓練を計画・実施をし、消火訓練、煙体験、AED取扱い訓練、また起震車による地震体験も行っています。

これらの活動を通して安心・安全の意識の輪を広げて、ご近所同士の連携により、地域内に「つながり」が広がっていると感じます。

但し、ご存知の通り近年は、コロナ禍で人が集まる活動を自粛しなければならない状況でしたので、集まっていた防犯パトロール、防犯講習会など、また、レクリエーション活動など緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出ている状況で、ほとんどが中止になってしまいました。

2. 埼玉県防犯設備協会との関わりについて

埼玉県防犯設備士協会（以下；埼防設）は2005年5月、防犯設備士を中心に設立総会を開催いたしました。防犯設備士の資格を持っていたことで会社を通して、埼防設を設立するとの連絡をいただきました。

この埼防設は会員同士が連携・協力し、優良防犯機器・設備の普及促進とその維持管理に関する広報啓発に努め、安全に安心して暮らせる防犯まちづくりに貢献することを目的として設立された地域協会です。

そして現在勤務している会社（アズビル株式会社）もセキュリティ機器や出入管理システム販売促進もしており、防犯に関しての知識の向上と同時期に加入した自治会での防犯ボランティアとして少しでも貢献できるのであればとの思いで、設立時の会員になりました。

会員になってからは埼防設のセミナーの参加や総会を通しての会員同士交流、日本防犯設備協会が行う防犯設備士試験の運営協力などで幅広い人脈を広げ、それらの情報を得ながら自治会活動にプラスの方向に繋がっていると思います。

埼防設は2009年11月に任意団体から一般社団法人 埼玉県防犯設備士協会に移行しました。その後、2015年8月に埼玉県警察協力のもと『埼玉県防犯優良アパート認定制度』が行われるようになり、更に活動の幅が広がっています。

2021年6月には「士」を取って、一般社団法人 埼玉県防犯設備協会に改称いたしました。

3. 総合防犯設備士の資格と自治会及び他の資格取得の関連性について

総合防犯設備士の資格は埼防設として取得数の拡大を目指していたこともあり、2020年に取得しました。総合防犯設備士として防犯コンサルティング、テクニカルスキル・ヒューマンスキルの向上、そして防犯システムにおける監理、監査、コンサルティングができる能力を有するものです。

ハードとソフトの面から総合的な防犯対策の提案をする能力を兼ねることになります。

現在の仕事は建物設備維持管理業務として都内のある延べ床面積12,855㎡の建物の設備常駐管理を行っております。そのため、設備などに関する資格(消防設備士[甲種4類_乙6類]、危険物取扱乙第4類、建築物環境衛生管理技術者、第一種電気工事士、監理技術者[電気]、第三種冷凍機械、2級管工事施工管理技士、2級ボイラー、建築-設備総合管理士、1級計装士など)を取得してまいりました。

総合防犯設備士は他の資格にないコンサルティングを重視しております。その意味で他の設備などに関する資格によって、より幅の広い知識としてのテクニカルスキルをもつ事になります。

総合防犯設備士はそのテクニカルスキルによって、防犯対策の構想力、現状分析に繋がっていると受け止めています。

また自治会活動は聞き上手なコミュニケーション能力、マネジメント能力に繋がるものだと思います。

一般社団法人 総合防犯士会のメンバーとしてSECURITY SHOWでの防犯相談コーナーの相談員を担当させて頂きました。

内容は多種に亘りますので、今後、それらの事を踏まえて総合防犯設備士として、更により深いプラスのアドバイスができるのではないかと考えています。

今後、自治会活動、地域協会(埼防設)、総合防犯士会の関連性を保ちながら更なる活動が出来たらと思っています。



防犯相談コーナー